

1. 学年・教科・単元名      4年 体育科 「デジカメでフォームチェック」
2. 実践者（所属）      福山 創（平小学校）
3. 使用する機器・メディアなど

入 力		ソフト, コンテンツ	出 力	
	教材提示装置	Web サイト ( )	<input type="radio"/>	50 インチ大型テレビ
	コンピュータ			電子黒板
<input type="radio"/>	デジタルカメラ	PC ソフト ( )		プロジェクタ
	SD カード			プリンタ
	デジタルビデオカメラ	DVD ソフト, 放送番組 ( )		
	DVD プレイヤー			
	その他 ( )			

4. ICT 活用のねらい（資料「教育の情報化に関する手引」文部科学省 2009 年）

教師が活用する場面		児童が活用する場面	
	興味・関心を高めるため		情報を収集・選択するため
	課題を明確につかませるため		文章, 表や図にまとめるため
	わかりやすく説明したり, 児童の思考や理解を深めたりするため		わかりやすく発表したり表現したりするため
	知識の定着を図るため	<input type="radio"/>	知識の定着や技能の習熟を図るため

5. 学習活動の流れ

学習活動（10分）	ICT 活用の留意点等
1. 自分のめあてを確認する。 2. 児童が互いに演技を撮り合う。  3. 自分のめあてを意識しながら撮った動画を見て, 自分のイメージと実際の動作を比較しながら課題を考える。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタルカメラの動画機能を活用する。</li> <li>・「〇月〇日, 開脚前転〇回目 行きます」等, 演技の最初に言ってから撮影すると, 前回と次回, 友だちと自分等, 記録を見直したり変化を比較するときに分かり易い。</li> <li>・必要に応じて大画面（50 インチ大型テレビやプロジェクタ）を使って児童に動画を提示すれば, 全体の指導の際に資料として活用できる。</li> </ul>

6. 実践のポイント

- ・デジタルカメラの動画撮影機能を使うので以下の利点がある。
  - 台数を確保し易い      ○撮ったその場で気軽に動画を再生できる
  - 動画のデータを管理しやすいので, 記録を続けて残すことができ, 児童の変容をみとったり説明資料として動画を活用したりすることができる。